

産業別四半期見通し調査結果 (2021年1～3月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2020年10～12月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が1業種、「小雨(低調)」が8業種、「雨(不調)」が1業種となった。

◇2021年1～3月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が1業種、「小雨(低調)」が8業種、「雨(不調)」が1業種となった。方向感では、「やや上昇」が2業種、「横ばい」が8業種、「やや下降」が2業種となっている。

天気図記号	2020年 7～9月期現況	2020年 10～12月期現況	2021年 1～3月期見通し
晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
薄日(順調)	1 業種	2 業種	2 業種
曇り(普通)	0 業種	1 業種	1 業種
小雨(低調)	5 業種	8 業種	8 業種
雨(不調)	6 業種	1 業種	1 業種



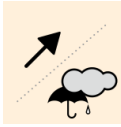


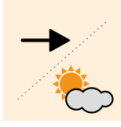


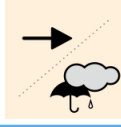


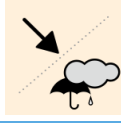


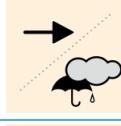


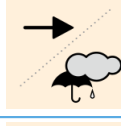


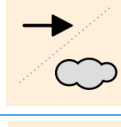


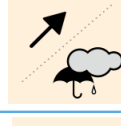
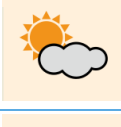

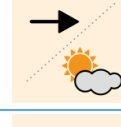


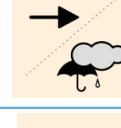


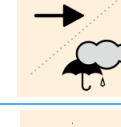


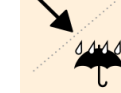
■1～3月期見通しのポイント



- 製造業、非製造業ともに天気マークに変化はみられないものの、新型コロナウイルスの影響により「小雨(低調)」が多い見通し。







<産業別天気図一覧(12業種)>



- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2020年12月中旬～21年1月中旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の126社



業種	前期 (7～9月期)	今期 (10～12月期)	来期 (1～3月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	国内向け受注は低調が続くが、中国向けは堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、新型コロナの影響で設備投資が少なく低調だった。今後、国内・米国・欧州向けの回復は鈍いものの、中国向けはIT関連や自動車関連がけん引し、全体の受注は持ち直す見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工作機械の受注は、国内では半導体関連での増加が見込まれるが、主力の自動車関連の回復は鈍く、全体では低調な見通し。海外では、中国向けは、IT関連や自動車関連が増加し堅調が見込まれる一方、米国・欧州向けは新型コロナの影響により低調が続く見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 半導体製造装置の受注は、5G関連や、データセンター向け、スマートフォン・PC向け、車載向けなどの半導体需要の増加から、堅調な見通し。



電子部品・デバイス	5G対応をはじめデジタル化の需要で、受注は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>スマートフォン向けの部品受注が5G対応機種を中心に順調だったほか、タブレットやゲーム機向けも順調だった。車載向けは中国や国内の需要が増加基調だった。今後も、5G対応をはじめデジタル化の需要増加が見込まれ、受注は堅調な見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スマートフォン向けは、5G対応機種のほか、中・低価格帯の製品需要も堅調なことから、部品需要は底堅く推移する見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 車載向けは、中国や国内の需要が引き続き堅調な見通し。ただ、世界的な車載向け半導体の不足により、生産が減少する懸念がある。各種製造装置に組み込まれる電子制御部品は、半導体需要の増加から、受注は堅調な見通し。



自動車部品	徐々に持ち直すとみられるが、完成車メーカーの減産により低調
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響で落ち込んでいた受注は上向いたが、前年の水準には戻らず低調だった。今後は、新型車向けを中心に徐々に持ち直していくとみられるが、半導体部品の不足に伴う完成車メーカーの減産による受注減少も見込まれ、低調となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国内は、新型車や環境性能の高いハイブリッド車(HV)、軽自動車向けを中心に受注は徐々に増加していく見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 北米向けは、新車需要の持ち直しから、受注は底堅い見通し。中国向けは、HVなど環境性能の高い日系メーカー車が人気であり、順調な受注が見込まれる。東南アジア向けは、受注の減少幅は縮小しているものの、新車需要の落ち込みが続き、低調な推移を見込む。


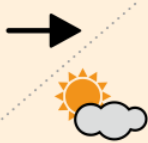
飲料製造	外出や宴会自粛の影響から低調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用の需要は堅調だった。一方、宿泊施設や飲食店向けの業務用の需要は、GoToキャンペーンなどの効果もあり上向いたものの、コロナ前の水準には戻らなかった。今後は新型コロナの感染再拡大により、業務用の需要減少が予想され、全体では低調な見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 果汁飲料やその他の清涼飲料水は、家庭用ではまとめ買いなどで堅調な需要が見込まれるが、宿泊施設や飲食店のほか、売店や自動販売機向けの需要は、移動自粛により減少が見込まれ、低調な見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • アルコール飲料は、清酒は宴会自粛により需要は減少する見込み。ワインは、飲食店などの需要はやや減少するが家庭用を中心に底堅い見通し。


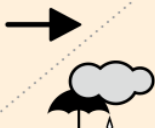
食料品製造	家庭用の需要は堅調だが、宿泊施設・飲食店向けは低調
<p>● 現況</p> 	<p>外出自粛により、家庭用の需要は即席みそ汁などスープ類を中心に堅調だった。一方、宿泊施設や飲食店向けの業務用の需要は、GoToキャンペーンで復調したが、コロナの感染再拡大により年末に再び落ち込んだ。今後も家庭用の需要は堅調が見込まれるが、業務用は減少が予想され、全体では低調の見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 味噌は、飲食店向け等は落ち込むが、即席みそ汁など家庭用の需要は底堅い見通し。乾燥食品は、家庭用スープ需要を取り込み、業務用の減少をカバーする見込み。 ● コンビニ向け惣菜は、首都圏との往来、県内での移動共に自粛の動きが広がり需要減少の見通し。


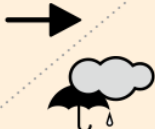
機械器具卸	設備投資に対する慎重な姿勢は変わらず、機械需要は低水準が続く
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響により設備投資の抑制が続き、機械需要は低調だったが、生産活動の持ち直しに伴い消耗品需要は増加した。今後も設備投資に慎重な姿勢は変わらず、機械需要は低水準が続く見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械やFA機器などの機械需要は、半導体製造装置向けでは堅調が見込まれるものの、自動車関連では投資の抑制から低迷し、全体では低調な見込み。機械に取り付ける切削用工具類や金属板などの消耗品受注は、生産活動の回復から堅調な見通し。 ● 電設資材は、公共工事では施設の改修などで安定した工事量が見込まれるが、民間工事は工場や店舗などの設備投資が減少し、全体の取扱量は低調な見通し。



大型小売	感染防止に向けた内食需要から、食料品は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>大型小売店は、新型コロナの感染防止に伴う内食需要などで食料品が堅調だったほか、マスクや消毒液などの衛生用品も売り上げが増加した。一方、外出控えによる客数の減少などもあり衣料品は振るわなかった。今後、新型コロナの感染再拡大により同様の傾向が続くとみられ、食料品などは堅調に推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 百貨店は、外出控えにより衣料品は低調が続く見込み。食料品は、バレンタイン関連などギフト商品は一定の需要が見込めるものの、催事による集客は難しく前年を下回る見通し。 ● スーパーは、新型コロナの感染防止に伴う内食化などで食料品が堅調に推移するほか、衛生用品なども好調な見通し。

自動車販売	低水準ながら新型車を中心に年度末に向けて徐々に持ち直す
<p>● 現況</p> 	<p>消費税増税後の反動減で落ち込んだ前年の水準は上回ったものの、例年と比べ販売は低調だった。今後は、完成車メーカーの減産による納車遅れが懸念されるものの、ハイブリッド車(HV)など低燃費の車種の需要は底堅く、販売は徐々に持ち直すと思われる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新車販売は、車内空間の広い軽自動車や環境性能の高いHVなどの新型車を中心に、低水準ながら年度末に向けて徐々に上向く見通し。 ● 中古車販売は、新車販売の復調を受け下取り車が確保され、安定した推移が見込まれる。 ● 輸入車販売は、海外からの納車遅れがあるものの、新型車を中心に底堅い見通し。

公共工事	災害関連工事や土木工事を中心に堅調な工事量が見込まれる
<p>● 現況</p> 	<p>一昨年の台風19号災害による復旧工事に加え、昨年の南信地域を中心とする豪雨災害復旧工事により、例年を上回る工事量となった。今後は、豪雨災害復旧工事の本格化等により堅調な工事量が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、リニア関連や三遠南信自動車道関連の工事や周辺整備が継続する中、治水工事の発注も見込まれ、例年を上回る工事量が見込まれる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県では、年度末に向けた各種工事の発注増加に加え、南信地域を中心とする豪雨災害復旧工事の本格化が工事量を下支えし、底堅い工事量となる見通し。 ● 市町村では、道路整備や施設改修等を中心に、安定した工事量が見込まれる。

民間工事	設備投資・住宅建築共に低調を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響に伴う企業の設備投資の縮小や見直しにより受注は伸び悩み、手持ち工事量も減少した。今後も投資への消極姿勢が続き、受注は減少する見通し。新築住宅は、所得環境の悪化が消費者のマインド低下を招き、着工数は低調となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、先行きへの不透明感の一層の高まりが投資意欲を低下させ、受注の減少が見込まれる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅関連は、分譲マンションの需要は底堅いものの、戸建て住宅を中心に着工数は総じて低調を見込む。住宅ローン減税の延長やグリーン住宅ポイント制度の創設により需要喚起が見込まれるものの、力強さに欠ける見通し。

貨物	海外向けの工業製品を中心に持ち直すが、需要は総じて低調
<p>● 現況</p> 	<p>昨秋以降、工業製品の生産や輸出に持ち直しの動きがみられ、貨物需要は最悪期の状況からは脱した。ただ、新型コロナ以前の水準には戻らず、運送量は引き続き低調を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生産用機械の運送量は、新型コロナの影響に伴う設備投資の見直しや縮小が継続し、例年を下回る見通し。自動車部品・電子部品関連は、中国など海外向け製品の生産が増加傾向にあるものの、全体として力強さに欠け、荷動きは依然として低水準にとどまる見込み。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品関連は、内食需要が堅調で家庭用の飲料や加工食品などの荷動きは安定推移が見込まれる。一方、観光や宿泊など外食向けの運送量は引き続き低調な見通し。衛生用品など日常的に使用する雑貨・消耗品類は、底堅い荷動きを維持するとみられる。

観光	新型コロナの感染再拡大により観光客は減少する見通し
<p>● 現況</p> 	<p>20年10月からGoToトラベルに東京が追加されたことにより観光客数は底上げされたものの、全国的な新型コロナの感染再拡大により、12月以降観光客の動きが弱まった。今後は、スキーなどの屋外アクティビティの利用が増加する時期となるが、GoToトラベルの一時停止による予約キャンセルが増加し、観光客数は減少する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、観光客が引き続き感染予防のため自家用車などで移動すると考えられ、利用客数は低調に推移することが見込まれる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊施設は、首都圏の緊急事態宣言による旅行控えに加え、県の県民限定各種割引施策も一時停止となり、利用客数は減少する見通し。